

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

令和4年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和4年6月16日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・ 授業参観
- ・ 学校長挨拶
- ・ 生徒会役員生徒との懇談
- ・ 学校よりの報告（学校の現状等・学校評価・生徒指導・進路指導・生徒会活動・農業教育について）
- ・ 意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ 学校評議員会に先立ち普通科および専門教科の授業を公開し、学校の様子や教育内容等を知っていただく機会を設けた。
- ・ 意見交換の時間を増やすため資料は事前に郵送し、また学校からの説明を簡略にするよう努めた。
- ・ 生徒会正副会長と文化祭実行委員長から活動方針や抱負を述べてもらい、学校評議員との懇談の時間をとった。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ 生徒会役員生徒との懇談の中では、コロナ感染予防対策を講じながら文化祭等の学校行事を進めていきたいという意見に対して、学校評議員からは「生徒と職員の間に入り、大変なことが多いと思うが是非頑張ってもらいたい」と励ましのご意見を頂いた。また、生徒の代表として校内の施設、設備の更新等について先生方に要望してほしいとの意見が出された。
- ・ コロナ過で思うように活動できずに困っていることは何かとの学校評議員の問いに対し、今までであれば会話をしながら楽しい時間を過ごしていたお昼が、黙食をしなければならず、毎日のことで結構つらいとの回答であった。コロナ過で日常的に生徒が抱えているストレスとして改めて認識することができた。
- ・ 卒業後は社会に出ていくわけだが、将来設計に関して、お金のため方や借り方についての学習に興味があるかとの質問が出された。生徒の回答としては、将来に必要な学習だが積極的に学びたいとまでの意識はないようであった。
- ・ 篠ノ井地区でのあいさつ運動についての今年度の実施見込みについては、コロナの状況を考えると以前のような実施はいまだ厳しい状況である。ただ、地域の役員の方とお話しすると、更農生と一緒にいった駅前植栽が非常に心に残っていると言っている。これからもお願いしたいとのことであった。
- ・ BYODに関して1年生は全員購入だが、経費の面で考慮したこととして、経済的に苦しいご家庭への貸与のシステムの周知や、学校徴収金について見直しや検討を行った。本校では今年度より制服の変更があり、これにかかる経費は削減された。

- ・コロナウイルス感染対策として学校側がとっている内容について、日常的な感染対策の徹底、感染リスクが高まる飲食を伴う場面での校内外における対応の状況、有症状時等には登校を控えることの周知と徹底について確認した。また分散登校やオンライン授業の状況についても情報共有した。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・生徒との懇談の時間を取って生徒の声を直接聞いてもらうことにより、学校や生徒の状況を伝えることができたと感じている。
- ・懇談を通して地域からの期待や応援の声をいただくことで、生徒の視野や行動力が広がり、主体的に行動できる場面が増えることに期待したい。
- ・ここ2年程学校へ来ていただく機会や、生徒が地域に出向く機会が少なくなっており、学校評議員の皆さんに学校の様子が伝わりにくくなっていると感じた。コロナ感染対策を行いながら、できる限り地域の皆さんとの交流の機会を増やしていきたい。また、校内の様子を伝えるための広報活動に一層力を入れる必要があると感じた。